

インフォシスの InStep プログラム、 5 年連続で「ベスト・インターンシップ・プログラム」の評価を獲得

グローバル・インターンシップ・プログラムで、プロフェッショナルとして、
また個人としての充実した体験を学生に提供

バンガロール (インド) – 2022 年 11 月 21 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE: INFY) は、本日、同社のフラグシップとなるグローバル・インターンシップ・プログラムの [InStep](#) が、2023 年 Vault 社ランキングの「ベスト総合インターンシップ・プログラム」を受賞したことを発表しました。InStep が同賞を受賞するのは今回で 5 年連続となります。同賞はキャリア・インテリジェンス組織の [Vault Firsthand](#) により公表されています。今年のインターンシップは、34 か国の 143 大学からさまざまな学業経験を持つ 285 名のインターンを迎えて実施されました。

このランキングは、世界各地の 139 プログラムの 10,000 名以上の参加者の回答に基づくものです。InStep は次のすべてのサブカテゴリで最上位にランクインしました。

- インターンシップ・ベスト 100
- テック & エンジニアリング業界のベスト・インターンシップ
- 手当、雇用の可能性、課題の質の高さ、生活の質の高さ、実際の体験、総合的なキャリア開発、人脈形成の機会、およびトレーニングとメンタリング
- 情報テクノロジー、ソフトウェア技術と開発、戦略と事業開発、およびデータ・アナリティクスを対象とした役割別ベスト・インターンシップ
- 総合的な多様性、女性に関する多様性、LGBTQ+ に関する多様性、個人、および人種と民族に関する多様性を考慮したベスト・インターンシップ

InStep はインフォシスが実施するグローバルで完全に有償の、フラグシップとなるインターンシップ・プログラムであり、22 年以上行われています。これまでに 50 か国の 200 大学から、3,000 名のインターンを受け入れています。InStep はイン

ターン向けに、プロジェクトにリアルタイムで従事し、コーポレート機能と事業単位の全般を体験する手段を提供しています。これには、戦略的技術グループ、人工知能、サイバーセキュリティ、企業戦略、データ・アナリティクス、持続可能性、アライアンス、公共サービス、金融サービス、マーケティングなどが含まれます。さらに、本プログラムでは詳細に定義されたキャリアアップ計画が提供されます。昨年は適格者の70%以上がフルタイム雇用の内定を受けました。

インフォシスのエグゼクティブ・バイスプレジデント兼最高マーケティング責任者である Sumit Virmani は、次のように述べています。「開始当初より、InStep は若い才能を育て、優秀な人材が指導を受け機会を得て学ぶことにより、自身のスキルをリアルタイムに発揮できるよう促してきました。今回の受賞は、当社のこうした道のりを引き続き、より一層熱意をもって継続するための、希望を与えてくれます。当社は今後も InStep を拡充させ、インターンの成長を促す環境と最良の就業体験を提供し、参加者が人類のより良い未来を創り出す仕事に携われるよう支援してまいります。

「キングズ・カレッジ・ロンドンはインフォシスとの数年にわたるパートナーシップを大変喜ばしく思います。私はキングズ・カレッジの教授陣とともに、今年の4月にインフォシスのバンガロール・キャンパスを訪れることができました。過去数年にわたり、本学の50名以上の学生がインフォシスのInStepプログラムを終了し、真に独自のインターンシップ体験と、プロフェッショナルとして、また個人として成長する素晴らしい機会を与えていただきました。今回のインフォシス InStep の素晴らしい受賞をお喜び申し上げるとともに、その卓越した成果が今後も継続するようお祈りいたします」と、**キングズ・カレッジ・ロンドンの学長兼校長である Shitij Kapur 教授**は述べています。

コロンビア大学工学部のリサーチ・アカデミック・プログラム担当上級副学長である Garud Iyengar 教授は、次のように述べています。「インフォシスとコロンビア大学工学部には、InStep インターンシップ・プログラムがもたらしてきた二つとない素晴らしい繋がりがあります。この取り組みは学生たちに、プロフェッショナルとして、また個人として豊かな体験を提供するものです。プログラムのインターンは、リアルタイムで進行するプロジェクトに参加します。対象となる分野には AI、機械学習、サイバーセキュリティ、UI/UX、メタバースなどがあります。学生たちは多様なバックグラウンドのプロフェッショナルたちと共に、クロスファンクショナル・チームとも連携し、業界の経験を積むことで、やりがいのあるキャリアパスを描いていきます。本学はインフォシスとの協働関係が末永く続くよう希望しております。」

スタンフォード大学のスタンフォード・グローバル・エンジニアリング・プログラムの学部ディレクターである Pamela Hinds 教授は、次のように述べています。「インフォシスはスタンフォードの工学専攻の学生にインターンシップを提供するパートナーとして、特別な存在であり続けています。本学の学生たちからは、人生が変わるような体験を得られたとの報告が寄せられています。学生たちは歓迎され、組織へと導き入れられ、困難な課題に取り組む機会を与えられます。そうした中で、貢献と成長を成し遂げることができ、メンターとペアになって指導を受けるだけでなく、境界を超えるよう背中を押され、忘れられない文化的な体験に遭遇するのです。本学は引き続きインフォシスと連携して、こうした人生を豊かにする経験の機会を学生たちに提供してまいります。」

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、30 万人以上の従業員とともに、人間の可能性を高め、人・ビジネス・コミュニティの次の機会を創造するために活動しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家として、50 か国以上のお客様のクラウド活用によるデジタル変革への道のりを推進します。当社は AI 駆動型コアを利用してお客様の変革を実現し、大規模なデジタル・アジャイルでビジネスに力を与え、常に学ぶ姿勢で、デジタル・スキルの移転を通じてお客様の継続的改善を推進しています。インクルーシブな職場で多様な人材が活躍する、効果的に統率された、環境面で持続可能な組織であることに全力を注いでいます。

インフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2021 年会計年度年次報告書 (Form 20-F) を含め、

米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時 発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

メディア関係のお問い合わせ先:

インフォシス 東京オフィス

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com